

打ち水について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年7月20日）

ここ数日、異常な暑さが続いておりますね。アスファルトも干上がっています。そこで、打ち水を実施すればもう少し暑さがマシになるのではないかと思います。学内の警備員の方などに、巡回の途中などに打ち水をお願いできないでしょうか。ご検討よろしくお願ひします。

【回答】（回答日：2018年9月3日）

（学生担当理事・副学長 川添信介）

ご意見ありがとうございます。

打ち水の効果は、水を撒くことによって地表の温度を下げ、水が蒸発する際の気化熱により周囲の空気の温度を下げるということですが、炎天下のアスファルトに水を撒いても湿度ばかりが高くなり、蒸し暑さが残るだけとも言われ、京大の広大なキャンパス面積を考えると、費用対効果は小さいと考えます。

ご提案の趣旨からは外れますが、真夏以外でも熱中症の危険はあると言われており、後期の授業が始まる10月になっても注意が必要な場合も考えられます。もし教室環境などでお気づきのことがありましたら、お近くの事務室までご連絡いただくようお願いいたします。